

～新しい観光スポットがオープン！～

下関市総合政策部国際課

(釜山広域市派遣職員)

阿部 さおり

アンニョンハセヨ！今年6月20日に釜山広域市の松島(ソンド)海水浴場に、新しい観光スポットである「釜山松島海上ロープウェイ」がオープンしました。実は、松島海上ロープウェイは1964年から1988年まで運行されていましたが、海水浴場利用客の減少等に伴い一度廃止され、今年29年ぶりに復活しました。

海上ロープウェイがある松島海水浴場は、南浦洞、チャガルチ市場から最も近いビーチで、1913年に公設海水浴場第1号となり、ホテル・刺身店などが集まる観光名所で、昔は日本人も多く訪れていたといわれています。しかし、最近では広安里や海雲台などの海水浴場に人気を奪われ、昔のような賑わいはなくなっていました。そこで今回、総事業費約70億ウォン(約7億円)を投入し、海上ロープウェイを復活させることで再起を図ろうとしています。

今回オープンした海上ロープウェイは、床が透明なクリスタルキャビンを含め8人乗りキャビン39台が稼働しており、全長1.62km、最大86メートルの高さで所要時間約7分間の海上空中遊泳を楽しむことができます。キャビンはほぼ全面がガラス張りなので、眺めはとともよく、天気の良い日は対馬まで見えるそうです。チケットは片道、往復とあり、キャビンの種類(床が透明なクリスタルキャビンと普通のキャビン)によって異なりますが、クリスタルキャビンだと、往復大人20,000ウォン、子供15,000ウォン、通常のキャビンだと往復大人15,000ウォン、子供11,000ウォンです。また、待ち時間なしで乗車できるスピーディーチケット1名40,000ウォン(大人子供問わず)や1機まるごと借上げができるプレミアムチケット1台(定員8名)200,000ウォンなどがあります。営業時間は、午前9時から午後11時までとなっています。

海上ロープウェイを結ぶステーション(ソンドベイステーションとソンドスカイステーション)には、飲食店等も充実しており、特にソンドスカイステーションは、レストランの他、松島の歴史や、世界各国のロープウェイを紹介し

ているミュージアムやステーション屋上に大きなブランコがあります。また、ステーション周辺はモニュメントなども設置され公園のように整備されています。松島は、海沿いに遊歩道も整備されていますので、行きはロープウェイを利用し、帰りは遊歩道を歩いて戻ってくるという楽しみ方もできます。

私も先日乗った時に、土曜日の夕方だったせいか 30 分ぐらい待ちましたが、ステーションで食事をしたり、写真を撮ったりしたので、帰りには暗くなり、行きは日中の明るい風景を、帰りは夜景を楽しむことができました。ロープウェイから見る夜景は、また日中の風景とは異なり、イルミネーションがとてもきれいで、ロマンチックな気分に入ることができます。機会があればぜひ一度ロープウェイを利用して、松島を楽しんでみて下さい。

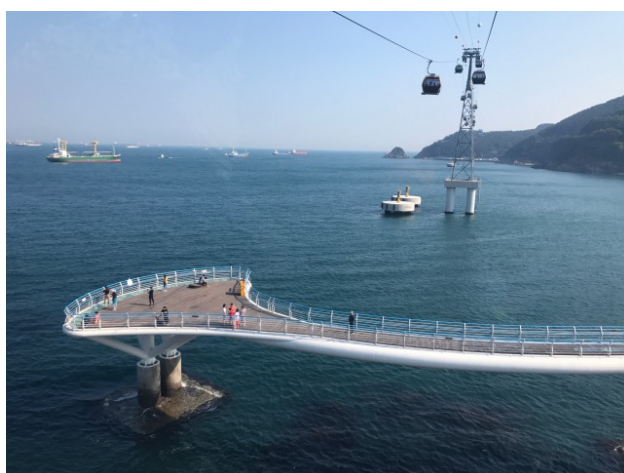
釜山松島海上ロープウェイ <http://www.busanaircruise.co.kr/index.asp>



【ロープウェイのキャビン】



【スカイステーションから見た海上ロープウェイ】



【海上ロープウェイと松島スカイウォーク】